

2024年10月10日
SCSK株式会社

SCSK、Nutanix とクラウドネイティブ環境でのパートナーシップを強化 ～企業のDXを支援するプラットフォームエンジニアリングとマルチクラウド環境を実現～

SCSK株式会社(本社:東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長:當麻 隆昭、以下 SCSK)は、ニュータニックス・ジャパン合同会社(本社:東京都千代田区 代表執行役員社長:金古 毅、以下 Nutanix) とクラウドネイティブ環境でのプラットフォームエンジニアリング※1 分野のさらなる推進と、より柔軟で効率的なデータ活用とアプリケーション管理の実現を目的に、パートナーシップを強化することで、お客様へ迅速なシステムのデリバリとビジネス価値の創出を支援します。

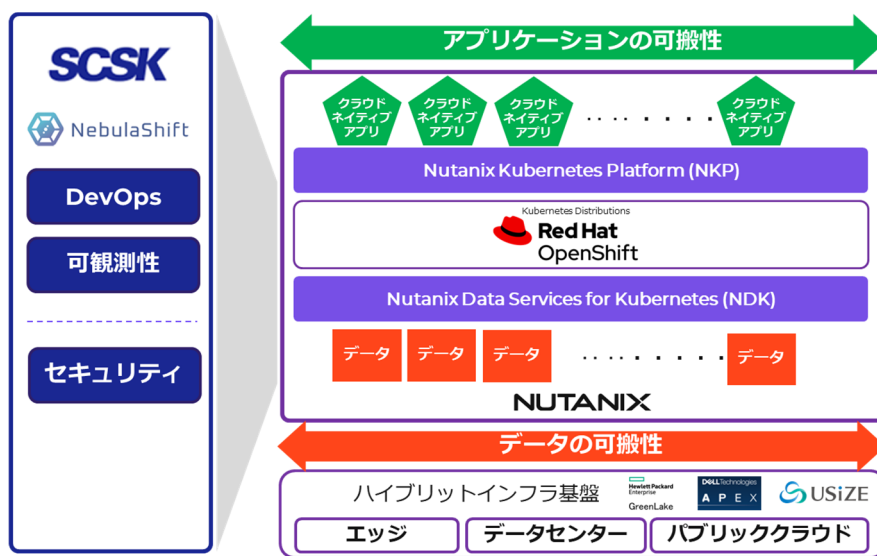
※1 アプリケーションの迅速なデプロイを実現し、自動化などによって開発者の生産性を高めるアプローチ

1. 背景・目的

SCSKは、2023年12月に「NebulaShift」(ネビュラシフト)を提供開始し※2、企業のクラウドネイティブ環境におけるプラットフォームエンジニアリングの実現に向けて支援しています。企業が競争優位を維持・向上に向け、これまで以上にデジタル化の推進、ひいてはクラウドネイティブ化へのシフトにあたり、クラウド間でのデータ可搬性やアプリケーション管理の革新がお客様のニーズとして挙げられています。

Nutanixは、データサービスのポートフォリオを統合管理する Nutanix Kubernetes Platform(以下 NKP) とエンタープライズ向けのデータサービスをコンテナ化されたアプリケーションに拡張することで、クラウドネイティブアプリケーションのプロビジョニングを簡素化して統合する Nutanix Data Services for Kubernetes(以下 NDK)を提供し、データとアプリケーションのシームレスな可搬性を実現しています。NebulaShift において、NKP、NDK を提供することで、プライベートクラウドとパブリッククラウドを意識することなく、データとアプリケーション運用を実現し、これまで以上にお客様のニーズを実現できると考え、このたびのパートナーシップの強化に至りました。

※2 <https://www.scsk.jp/news/2023/pdf/20231213.pdf>



2. パートナーシップによる強化ポイント

① コンテナとデータの可搬性

ハイブリッドクラウド環境におけるアプリケーション移行やデータ保護を効率的にサポートします。NKPを活用することで Kubernetes 環境を一元的に管理することができ、クラウド上の複雑な運用を大幅に簡素化し、運用の効率化を推進します。

② 柔軟なクラウド運用

オンプレミスやエッジコンピュータ、パブリッククラウドまで対応する CNCF^{※3} 準拠の Pure Upstream Kubernetes 環境を提供する NKP と、クラウドネイティブアプリケーションのプロビジョニングを簡素化して統合する NDK を利用することにより、これまでバラバラだった管理コンソールを一元的に管理できるため、SCSKが提供するハイブリッド・マルチクラウド環境での運用が一層強化されます。

※3 クラウドネイティブ技術の普及を支援する団体。クラウドネイティブを「パブリッククラウド、プライベートクラウド、ハイブリッドクラウドなどの最新の動的環境で、スケーラブルなアプリケーションを構築して実行する技術」と定義している。

③ セキュリティの強化

NebulaShift は、コンテナ環境のセキュリティにおけるデファクトスタンダードである Sysdig を採用しています。さらに、マルチクラウドのコンテナ管理に強いNKPと連携することで、複雑化する顧客のアプリケーション開発基盤全体を一元的に管理し、ガバナンスとセキュリティの強化を図ることで、お客様が安心して利用できるセキュアなプラットフォームエンジニアリングを支援します。

3. 今後の展開

NebulaShift は、お客様の持続可能な事業成長を支えるため、事業変革に対応しうるクラウドネイティブ化をあらゆる側面から支援します。今後もお客様が実現したいビジョンや事業構造にあわせて、最適なオファリングを提供します。

本件に関するお問い合わせ先

SCSK株式会社

プロダクト・サービス事業グループ

IT インフラ・ソフトウェア事業本部 サーバ・ストレージ部 徳田

E-mail: NebulaShift-info@scsk.jp

※ 掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。